

森林と大地と人が輝くまち

しもかわ 議会だより

令和6年 No.206

11

p2~ 9月定例会議

p6~ 一般質問

p11~ 議員とフリートーク

p4~ 決算認定審査

p8~ 7月臨時会議

表紙の写真 「もちつきぺったん！（10月20日 みくわの日）」

9月定例会議 9月9日～19日

【定例会議のあらまし】

9月定例会議では、条例の一部改正、一般会計・各種特別会計・病院事業会計の補正予算、各種会計等決算認定、教育委員任命の同意などが提案され、全て可決、同意、認定としました。

一般質問では、3人の議員が町長に考えを問いました。

◆下川町公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

下川町総合福祉センター「ハピネス」の機能訓練室にある運動器具の経年劣化などにより、その利用を令和7年2月28日をもって終了することに伴い、機能訓練室の使用料の規定を条例から削除することと、下川町まちおこしセンター「コモレビ」を指定管理できるように条例に追加するものです。

質問 現在ある運動器具は今後も維持して使用するのか。

答 現在あるエアロバイク台は、元気教室で使用し、ウォーキングマシーンについては、事故防止の観点などから廃棄処分とする。

質問 まちおこしセンター「コモレビ」を指定管理にするメリットは。

答 現在は、観光協会に管理運営などの業務を委託しているが、貸館の使用許可は出せなかった。指定管理とすることで、貸館業務も委託でき、貸館の使用許可が速やかに出せるようになることで、利用者のサービス向上につながる。

意見 まちおこしセンター「コモレビ」を指定管理にすることで、今まで以上に利便性が良くなることを期待する。

◆一般会計補正予算（第3号）

国の制度改正や緊急を要するもの、職員の人事異動などに伴うなどによる補正予算です。

主な内容は、
・有害鳥獣捕獲等事業

ヒグマ出没対策として赤外線カメラを搭載し、ズーム機能や音声出力を備えたドローン購入費
97万円増額

・中小企業振興事業

中小企業が行う新商品開発、販路開拓、人材育成、空き店舗利活用などに対する中小企業振興事業補助金 560万円増額
・多目的宿泊交流施設（アイキャンハウス）管理事業
アイキャンハウスの経年劣化に伴う取替の修繕費など
441万円増額

質問 有害鳥獣捕獲等事業のドローン導入で期待される効果は。

答 導入するドローンは、赤外線カメラや音声出力などの機能を有しており、有害鳥獣探索のほか、災害時の利活用が考えられる。

質問 アイキャンハウスのサッシ取替などは、当初予算で計上する性質のものではないか。

答 施設を確認したところ利用者の居住環境の向上と厳冬期に向け

た修繕が必要と判断し、今回の予算計上となった。

意見 中小企業振興事業は、中小企業者が意欲をもって事業に取り組むことができ、地域振興にもつながることから、実りある結果となることを期待したい。
多目的宿泊交流施設管理事業は、定期的に指定管理者と情報共有を行い、管理運営上で必要な修繕などについては、当初予算で計上するなど適切な予算計上となるよう進めていただきたい。



サッシの取替修繕を行うアイキャンハウス



【YouTube】QRコードを読み取ると本会議の映像が見られます。



(動画時間) 72分
8:20 議案上程



(動画時間) 14分
2:11 委員長報告
(総務産業常任委員会)



(動画時間) 23分
2:13 委員長報告
(決算認定特別委員会)

9月定例会議の審議議案と議員の賛否（令和6年9月9日～9月19日）

議案の件名・概要・結果		結 果	桜 木 誠	奥 崎 裕 子	小 原 仁 興	中 田 豪 之 助	大 西 功	斉 藤 好 信	(欠 番)	我 孫 子 洋 昌	議 決 日
町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠											
□ 下川町国民健康保険条例及び下川町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例		可 決	○	○	○	○	○	○	○	—	※議長は議事の進行を行うため賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。
□ 北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 下川町表彰条例に基づく表彰について（功労表彰：濱 下 伸一郎 氏）		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 下川町表彰条例に基づく表彰について（功労表彰：藤 原 基 喜 氏）		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 下川町表彰条例に基づく表彰について（功労表彰：谷 一 之 氏）		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 訴えの提起について（滞納下川町営住宅使用料等の請求訴えに伴うもの）		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和6年度下川町介護保険特別会計補正予算（第2号）（介護保険事業勘定） 補正額：△2万円 補正後の額：4億8,550万円 補正内容：職員の異動等に伴う人件費の減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和6年度下川町介護保険特別会計補正予算（第2号）（介護サービス事業勘定） 補正額：△53万2千円 補正後の額：3億3,684万8千円 補正内容：職員の異動等に伴う人件費の減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和6年度下川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） 補正額：△286万9千円 補正後の額：4億8,896万1千円 補正内容：職員の異動等に伴う人件費の減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和6年度下川町下水道事業会計補正予算（第2号） 補正額：収益的収入 210万7千円 補正後の額：2億2,898万9千円 収益的支出 35万7千円 補正後の額：2億1,987万6千円 補正内容：令和5年度消費税及び地方消費税確定に係る増額 など 補正額：資本的支出 175万円 補正後の額：1億 567万7千円 補正内容：公共下水道公共枹設置に係る工事請負費の増額		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和6年度下川町簡易水道事業会計補正予算（第1号） 補正額：収益的支出 △303万8千円 補正後の額：1億8,498万1千円 補正内容：職員の異動等に伴う人件費の減額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	9月9日
□ 令和6年度下川町病院事業会計補正予算（第1号） 補正額：収益的収入 3,043万2千円 補正後の額：5億6,361万7千円 収益的支出 1,052万1千円 補正後の額：5億9,244万8千円 補正内容：名寄市立総合病院との医師相互派遣に伴う医師報酬の増額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 下川町教育委員会委員の任命について（石 谷 英 人 氏）		同 意	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和5年度決算に基づく下川町健全化判断比率及び資金不足比率の報告について		報告済	—	—	—	—	—	—	—	—	
□ 専決処分（第3号）の報告について （議会の議決に付すべき工事請負契約の変更について） あけぼの団地線外2路線道路改良舗装工事 契約金額(変更後)：6,329万4千円		〃	—	—	—	—	—	—	—	—	
□ 下川町公の施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		可 決	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和6年度下川町一般会計補正予算（第3号） 補正額：6,420万8千円 補正後の額：57億4,148万円 補正内容：中小企業振興事業に係る補助金の増額 など		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和5年度下川町各種会計歳入歳出決算認定について		認 定	○	○	○	○	○	○	○	—	
□ 令和5年度下川町公営企業会計決算認定について		〃	○	○	○	○	○	○	○	—	
△ 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書		可 決	○	○	○	○	○	○	○	—	9月12日
											9月19日

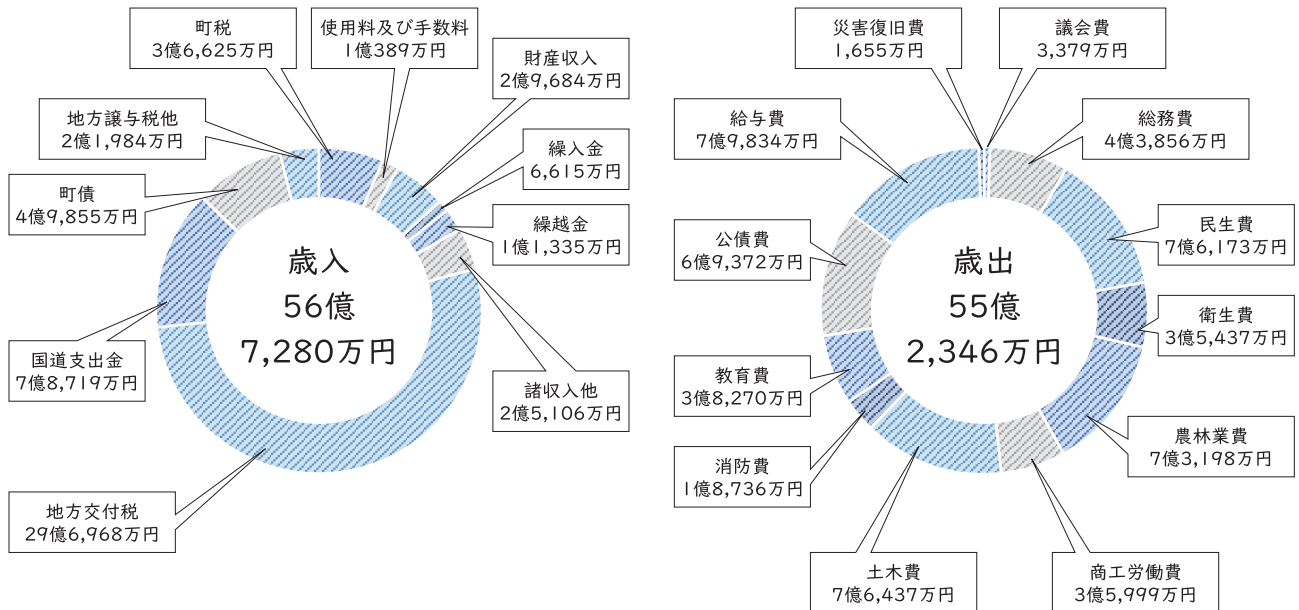
決算審査とは、各種会計予算が目的通り適正に執行されたのかを審査するものです。

決算認定特別委員会を設置して、決算書や各種資料、担当課からの説明などをもとに審査した結果、委員会として「認定すべきもの」と決定しました。

〔委員長：奥崎 裕子議員 副委員長：大西 功議員〕
〔審査日：9月10日～13日、17日〕

令和5年度 各種会計等 決算認定審査

令和5年度下川町一般会計決算



～ポイント～

- ・歳入では町税が増加した一方で、地方交付税や国・道支出金は減少
- ・歳入・歳出ともに前年度より減少
- ・基金現在高は5年連続増加し、特別会計を含めた基金現在高は20億円を超えた



会計別の決算状況



稼働を始めた下川浄水場

	収入	支出	差引額
一般会計	56億7,280万円	55億2,346万円	1億4,934万円
下水道	3億4,518万円	3億3,758万円	760万円
簡易水道	15億1,788万円	15億1,490万円	298万円
介護保険（事業勘定）	4億8,911万円	4億5,417万円	3,494万円
介護保険（サービス勘定）	3億2,708万円	3億2,237万円	471万円
国民健康保険	3億8,830万円	3億8,650万円	180万円
後期高齢者医療	6,376万円	6,366万円	10万円
病院（収益的収支）	5億2,455万円	5億5,295万円	△2,840万円
病院（資本的収支）	1,998万円	2,408万円	△410万円



質問に答える理事者

決算認定審査における理事者質疑 の回答と、委員会の審査意見は下記 の通りです。



(動画時間) 23分
2:13 委員長報告



これから下川町をどうしていくの？

○基金の将来的な投資計画

20億円を超えた基金については、老朽化する役場・消防庁舎などの施設の更新だけでなく、地域課題である農林商工業の振興、人材確保、子育て・福祉分野などの多岐にわたる問題解決にも使いながら、できるだけ基金を増やしていく考えを持って進めていく。

○庁舎等公共施設の更新の考え方

役場・消防庁舎については、耐震化による長寿命化は難しいと考えている。都市・防災機能などを持たせた複合施設も視野に入れ、施設の間所も含めて様々な角度から、先送りせず早い時期に町民とともに考え進めていく。

あけぼの園や山びこ学園などの福祉施設については、福祉医療連携会議で課題等を調査し議論を行っている。利用動向や働き手の確保、経営分析などの予測を立て、戦略的縮小も視野に総合的に判断していく。

○ふるさと納税の今後の考え方

町内企業とも連携し、体験型など返礼品のメニューを拡充させていく。

企業版ふるさと納税の獲得のためには、企業と良好な関係を築くことが重要だと考える。林産業や森林の二酸化炭素吸収によるカーボンニュートラルなど、地域資源を生かした取り組みや、下川町の課題を知ってもらえるよう進めていく。



カーボンニュートラルは、温室効果ガスの排出量を森林の吸収量などで差し引きゼロにする、という意味なんだよ

◆委員会の審査意見

不用額は昨年度に比べて減少し、一定程度評価できる。

積年の課題である人材確保は、待遇改善や有効な施策を検討すべきである。

令和5年度の予算の執行状況はおおむね適正で、今後も町民のニーズに対応した公共施設の統廃合、予算の適正な執行、福祉・医療施設の経営改善や各種人材確保に向けた新たな仕組みづくりなどに期待したい。

子育ての安心につながる 取り組みについて



(動画時間)
58分



さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員

町長：比較検討をしながら 最終的な判断をしたい

その他の質問事項

- ▶ 誰もが安心して暮らせるまちについて
- ▶ 資格取得の支援について

町長 町としては必要な助成を継続的に行ってきています。給食費の完全無償化は現在のところ実施は難しいです。

質問 子育て支援策として給食費の無償化を検討すべきではないですか。

町長 この経済的負担の軽減が一番重要だと判断すれば実施をしていく状況になります。そういったところを含めながら最終的な判断をさせていただきます。

再質問 高校の授業料無償化は国で行った施策です。それを踏まえて、町としての通学費の助成を求めています。町長は高校生を持つ子育て世代が家計的に圧迫を受けていない、経済的軽減策はしなくていいとの認識ですか。

質問 通学費助成に関し「実現に向けた研究、検討を進めていきたい」と言われましたが、その進捗状況を伺います。

町長 高校の授業料無償化によって高校生を持つ家庭の経済的負担は一定程度軽減されていると認識しています。



なかた ごうのすけ
中田 豪之助 議員

指定管理者の選定理由を 町民に公開すべき



(動画時間)
14分

町長：十分な配慮を行った上で、 積極的に情報を公開していく

質問 町長の公約「町民とともに歩む」では、「各種計画、各種会議などの町の情報を分かりやすくお知らせします」とあります。「指定管理者選定委員会」において、モニタリングの結果や評価ポイント等、指定管理者の選定理由を町民に公開して、町政の透明性を確保し、町民の理解を得ることが町長の公約「町民とともに歩む町政」を具体化する方法の一つと考えます。

町長 選定理由の公開につきましては、指定管理者選定の公正透明性の観点から、一定程度公表することが望ましいと判断しました。今後は、事業者の事業活動などに影響がないよう、法人、団体情報への十分な配慮等を行った上で、指定管理者制度導入基本方針や選定理由について、町民の皆様にご理解いただけるよう、積極的に情報を公開してまいります。





さくらぎ まこと
桜木 誠 議員

公共施設の再編・統廃合について 丁寧な情報提供などをすべき



(動画時間)
46分

町長：利用者に寄り添った形で
丁寧な説明・対応をしたい

質問

町は、公共施設の再編・統廃合に際しては利用者などの理解・合意のもとに進めるとしていますが、利用者の不安の声も散見されています。各施設の利用者に対し、どのような情報提供を行ってきたのか、今後どのように進めていくかとしていますか。

町長

町からの利用者への説明が一方的で対応が不十分との声も聴いており、担当課に丁寧に対応するように指示しています。機能が類似する施設の貸館・利用状況などを見て、町民や利用者の意見をいただきながら協議してまいります。

再質問

各公共施設の使用料設定の中で「営利を目的とする者は5倍に相当する額とする」という規定があり、その適用範囲によっては、町民の自主的な活動を阻害することが懸念されますが、町長の「営利を目的とする者」の考え方は。

町長

グループ・団体での参加料、物販で利益を得ることが、一律営利目的という判断にはなりません。判断基準を公共施設の見直しと併せて考えていきます。



総務産業常任委員会より

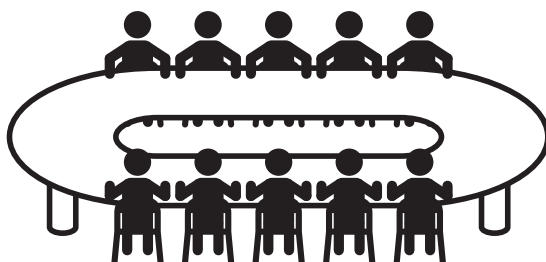
9月30日～10月3日 道外所管事務調査

合計特殊出生率2.95の岡山県奈義町ほか

10月15日・16日 町内所管事務調査

を実施しました。

※調査の詳細につきましては次号にて報告します。





教員住宅のイメージです

◆議会の議決に付すべき財産の取得について
令和6年度の当初予算で予算化された、民間企業の創意工夫や技術などを活用した教員住宅等購入事業に関連したもので、予定価格が700万円以上となる契約について、新築される教員住宅（1棟8戸）と舗装などの外構を含めた財産1億2,900万円の取得に関し、議会の議決を求めるものです。

7月臨時会議 7月11日

7月臨時会議に提案された議案1件は原案通り可決しました。

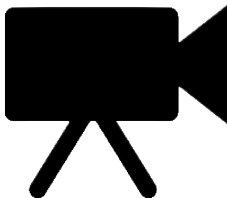


（動画時間）11分
3:30 議案上程

7月臨時会議の審議議案と議員の賛否（令和6年7月11日）

議案の件名・概要・結果 町長提出議案：□ 議員又は委員会提出議案：△ 賛成：○ 反対：× 欠席：欠		結果	桜木 誠	奥崎 裕子	小原 仁興	中田 豪之助	大西 功	斉藤 好信	（欠番）	我孫子 洋昌	議決日
□	議会の議決に付すべき財産の取得について （教員住宅1棟8戸 契約金額：1億2,900万円）	可決	○	○	○	○	○	○	○	※1	※2

（※1）議長は議事の進行を行うため、賛否の表明はしません。賛否が同数の場合のみ表明します。（※2）7月11日



【YouTube】

QRコードを読み取ると本会議での質疑や答弁などの映像が見られます。また、過去に開催した議会の本会議、質疑や答弁なども見ることができます。詳しくはホームページをご覧ください。Youtube「北海道下川町議会」のチャンネルへお越しください。

下川町議会

検索



<http://www.town.shimokawa.hokkaido.jp/>



北海道下川町議会チャンネル



ホームページ

新十津川町議会が視察に来ました



議会によって取り組みはさまざま

7月16日に新十津川町議会から議員10名が下川町を訪れ、しもかわ地域振興機構の取り組みを視察後、下川町議会と意見交換を行いました。

下川町議会を導入している議会基本条例、通年議会、議会モニター制度などの議会活動だけでなく、共通課題である議員のなり手不足の問題、住民への情報発信などについても活発な意見が交わされ、それぞれの議会の取り組みを知る良い機会になりました。

浦幌町議会へオンライン視察を行いました



モニター越しにやり取りしている様子

7月23日、浦幌町議会へzoomを使いオンライン視察を行いました。

浦幌町議会と町民との意見交換会の実施状況や、そこで得られた意見・要望などをどのように議会活動へ反映させていくのかということが今回の視察の主目的でしたが、日曜議会・ナイター議会、議会モニターによる評価など議会活性化の取り組みについても参考になる部分が多く、視察の時間が足りなく感じるほどでした。

下川町議会のこれからの議会活性化に活かしていきたいと思います。

千代田区議会議員が視察に来ました



下川町の取り組みを熱心に聞く様子

9月2日に千代田区議会議員1名と研究員1名が下川町を訪れ、SDGsの取り組みや訪問介護の状況、一の橋バイオビレッジと特用林産物栽培研究所を視察しました。

メモを取って熱心に説明を聞いていました。

輝け！議会 対話による地方議会活性化フォーラム

議会改革発祥の地、
北海道は今…



7月21日に鷹栖町にて議会活性化フォーラムが開催され、下川町議会から3名の議員が参加しました。

北海道の議会改革の現状について鷹栖町議会 大石隆議長、芽室町議会 梶沢幸治議長の講演をいただきました。

地方自治が専門の江藤俊昭教授（大正大学）土山希美枝教授（法政大学）によるコメントのあと参加者によるグループディスカッション、そしてお二人の教授による総括がありました。

グループ内では各自治体で議会改革を進めるうえでの問題点、障害について情報交換を行い、たいへん有意義な研修となりました。

議会広報研修会

いかにして
読者を増やすか？



8月20日に札幌市にて「読者に読まれる議会報の企画と編集」という議会広報研修会がありました。講師は一般社団法人自治体広報広聴研究所代表理事の金井茂樹氏です。

議会報（議会だより）の課題は読者を増やすこと。そのために、情報量を減らす、質を向上させる等々の解説と実際の各自治体の議会だよりの例示、解説がありました。

これらの研修を活かし、さらに読みやすく、内容が伝わりやすい、議会だよりを目指します。

戸塚区議員団 カーボンオフセット授与

麦と梨を「とつかの森でつかまえて」

8月28日に下川町議会と、横浜市戸塚区の9名の議員（以下、戸塚区議員団）との間で、カーボン・オフセット証明書授与式と交流会がオンラインで行われました。

戸塚区議員団9名が排出するCO₂（一人当たり2トン、計18トン）を下川町の森が吸収する分と相殺するものです。

戸塚区と下川町は、平成23年に下川町、戸塚区川上地区、戸塚区役所の三者で、友好交流協定を締結し、ネーミングライツ（命名権）も利用し下川町有林の一部を「とつかの森」と名付けるなどの取り組みが行われています。

戸塚区議員団と下川町議会は「麦梨連盟」を設立、連携を深めています。今後、脱炭素、循環型社会を目指し大規模都市と農山村が協力しあっていくことを再確認しました。



議員とフリートーク



令和6年8月27日に議員とフリートークをコモレビで開催し、様々なお話を聞かせていただきました。

ここでは、話題に上がった疑問や要望の一部を掲載します。

公区役員のなり手不足。公区によって活動内容にも差が出ているのでは？

公区制度についての文書質問を行い、町の考えを問います。

家の近くのデントコーン畑に熊がやってきて怖い。作物の転換や電気柵を張るなど対応してほしい。

要望のあった住宅周辺のデントコーン畑には電気柵を張ることになりました。

スマホ役場にしているけど、いつスマホ勉強会をするの？

町のスマホ教室は、来年1月まで毎月1回開催予定です。

当日は雨まじりの天気でしたが、足を運んでくれた皆さん、どうもありがとうございます。

いただいた意見は議会で共有し対応を協議しています。
ぜひ気軽に話をしに来てください。お待ちしております！

議会活動日誌 6月22日から9月19日までの議会の活動記録です (6月定例会議閉会後から9月定例会議閉会まで)

- 7月 2日 令和6年度北海道町村議会議員研修会(札幌市)
7月 5日 横浜市戸塚区県・市議会議員団行政視察(7日まで)
7月 9日 上川北部女性議員団視察
7月11日 第6回議会運営委員会
7月臨時会議
第3回議会広報特別委員会
7月16日 新十津川町議会行政視察
7月23日 第4回議会広報特別委員会
(オンライン視察:浦幌町議会)
8月20日 議会広報研修会(札幌市)
8月27日 議員とフリートーク(コモレビ)
第7回議会運営委員会
8月30日 第2回全員協議会
9月 2日 千代田区議会議員行政視察
9月 4日 第8回議会運営委員会
9月 9日 9月定例会議(初日)
9月10日 決算認定特別委員会(初日)
9月11日 決算認定特別委員会(2日目)
第9回議会運営委員会
9月12日 一般質問
決算認定特別委員会(3日目)
9月13日 決算認定特別委員会(4日目)
第3回全員協議会
第5回議会広報特別委員会
9月17日 決算認定特別委員会
(最終日:理事者見解)
9月18日 第10回議会運営委員会
第3回議会だより編集委員会
9月19日 9月定例会議(最終日)



7/2 北海道町村議会議員研修会



7/16 新十津川町議会行政視察

編集後記

議会だより読者のみなさま、こんにちは！私たち編集委員は、まずは議会だよりを「手に取って、見て読んでいただく」、次に「議会活動や町政に興味をもっといただく」、「町政運営に参加していただく」などを念頭に紙面の充実に取り組んできました。

紙面のレイアウトを変えたり、写真をふんだんに使い、難しい表現は極力使わないなど、試行錯誤の真只中で、まだまだ読者の皆さまには満足していただけないものになっているとは思っていません。是非、様々なご意見やアドバイスを寄せてください。

この議会だよりが皆さまのお手元に届くころには、下川に初雪の便りが届いているかも？
風邪などひかないよう、ご自愛ください。
(桜木)



議会広報特別委員会
(議会だより編集委員会)

委員長	おく	ざき	ゆう	こ
副委員長	なか	た	ごう	のすけ
委員	さくら	田	豪	まこと
	桜	木		誠